



学校だより

令和5年2月28日

学校教育目

3

月

号

ともに学び、創り出し、行動する子 =輝く自分、輝く鶴小=

横浜市立 鶴ヶ峯小学校

(<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsurugamine/>)



成長と感謝

校長 荻原 規彦

早いもので、3月17日（金）に6年生は卒業式を迎えます。それに先立って2月18日（土）には、6年生の「成長と感謝を伝える会」が体育館で行われました。6年間の学校生活の様子を写真等で振り返り、成長したことへの感謝や中学生になってチャレンジしたいことなどをみんなの前で発表し、保護者の方には感謝の気持ちをしたためた手紙をお渡ししました。サプライズで教職員からのメッセージもあり、素敵な会となりました。また2月24日（金）には、『ゆめつる交歓会』があり、1年から5年生が6年生に感謝の気持ちを歌や楽器の演奏、スピーチで伝えました。「あひる班活動」で仲良くしてもらった先輩は、いろいろな場面で声をかけてもらったり、お手伝いをしてくれたりしました。鶴ヶ峯小学校の良き伝統だと思っています。

卒業する6年生は多感な思春期を迎え、周りの目も気になってしまうこともあるかもしれませんが、自分を信じ、仲間や家族を信じて自信をもって進んでほしいと思います。そして、自分を卑下することなく堂々と胸を張ってプライドをもって生きてほしいと思います。

3月6日（月）には、「学援隊のみなさんに感謝する会」が行われます。学援隊の皆様には毎日、通学路に立っていただき子どもたちを見守ってくださっています。2年間実施できませんでしたが、今回はご来校いただき、校庭で感謝を伝える予定です。

今年1年間も新型コロナウイルス感染症に振り回された一年で、毎日のようにメール配信をしなければならない時期もありました。保護者の皆様には毎日の検温の入力していただき、ありがとうございました。そんな中でも4年生、5年生、個別支援学級の宿泊学習、水泳指導（6年のみ）、ゆめつるコンサート、秋まつりなどの行事が復活できたことは、良かったと思っています。

来年度からは新型コロナウイルス感染症による制約が緩和される見込みです。この3年間、感染の拡大防止に努めながらも、一つひとつの教育活動の意義やあり方を問い直す機会にもなりました。単にコロナ前に戻すだけでなく、これからの学校教育の在り方を踏まえながら来年度への準備を進めていきます。

授業時数については、これまで余裕をもって確保していましたが、必要以上に授業時数を取りすぎないようにとの通達があり、授業内容を精選して授業時数を減らしていくことになりました。ICT等も活用しながら学習内容はしっかりと履修していきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

校庭の桜も子どもたちの卒業・入学をお祝いできるように準備をしていて、一か月後には満開になることでしょう。

春はそこまで来ています。

